

## 平成 28 年度事業計画 (第 7 年度)

自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日

平成 27 年度に引き続き、「研究助成事業」、「研究会 (学会を含む) 助成事業」並びに「研究者の海外派遣援助事業」を実施し、わが国の学術及び文化の向上発展に寄与することを目的とします。

事業実施に当たっては、基本財産の運用益を有効に活用するため、引き続き経常的経費の節約につとめます。

### 1. 研究助成

#### (1) 対象

自然科学分野はエレクトロニクスを中心とする自然科学の研究を行う研究者又は、研究グループ。

人文・社会科学分野は国際化にともなう法律、経済、社会、文化等に係る諸問題に関する研究を行う研究者又は、研究グループ。

#### (2) 助成金額

**総額 214,000 千円**以内とする。

#### (3) 選考方法

関連する学協会の代表者又は、大学の学部長等に推薦を依頼し、選考委員会において選考の上、理事会で決定後、評議員会で承認する。

### 2. 研究会 (学会を含む) 助成

#### (1) 対象

自然科学分野はエレクトロニクスを中心とする自然科学の研究を行い、日本国内で開催される研究会・学会。

人文・社会科学分野は国際化にともなう法律、経済、社会、文化等に係る諸問題に関する研究を行い日本国内で開催される研究会・学会。

#### (2) 助成金額

**総額 24,000 千円**以内とする。

#### (3) 選考方法

関連する学協会の代表者又は、大学の学部長等に推薦を依頼し、選考委員会において選考の上、理事会で決定後、評議員会で承認する。

### 3. 研究者の海外派遣援助

#### (1)対象

自然科学分野はエレクトロニクスを中心とする自然科学の研究を、海外で行う研究活動、あるいは海外で開催される国際会議、シンポジウム等で研究発表する場合の海外派遣。

人文・社会科学分野は国際化にともなう法律、経済、社会、文化等に係る諸問題に関する研究を、海外で行う研究活動、あるいは海外で開催される国際会議・シンポジウム等で研究発表する場合の海外派遣。

#### (2)派遣期間

通例3ヶ月以内とする。

#### (3)援助金額

総額 **22,000** 千円以内とする。

#### (4)選考方法

関連する学協会の代表者又は、大学の学部長等に推薦を依頼し、選考委員会において選考の上、理事会で決定後、評議員会で承認する。

### ◎助成（援助）金額合計

項目	合計		自然科学系		人文・社会科学系	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
1. 研究助成	124 件程度	214,000	100	176,000	24	38,000
2. 研究会(学会)助成	36 件程度	24,000	30	21,000	6	3,000
3. 研究者海外派遣援助	90 件程度	22,000	70	16,000	20	6,000
合計	250 件程度	260,000	200	213,000	50	47,000

### 4. 年報発行

当財団の事業活動並びに研究助成の成果報告を年報にまとめ関係者に配付する。

### 5. 電子申請化に向けた取り組み

近年の助成申請の増大に伴い、申請受付から助成金支払、年報発行までの業務量が増大している。今後の事業拡大を想定し、業務の合理化を図るため、電子申請システムの導入を開始する。初年度の運用費用として、**1,500** 千円 を計上する。

### 6. 研究助成の海外展開

研究活動のグローバル化に伴い、海外研究拠点の活動の支援が求められている。本年度は、チェンマイ大学（タイ）、ペトロナス工科大学（マレーシア）との契約関係の費用として、**1,000** 千円 を計上する。

## 収支予算書(H28)

平成28年4月1日 から 平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	H28年度予算額 (A)	H27年度予算額 (B)	増減 (A)-(B)
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
① 基本財産運用益	(282,097,439)	(299,903,786)	(▲ 17,806,347)
基本財産受取利息	32,608,039	50,414,386	▲ 17,806,347
基本財産受取配当金	249,489,400	249,489,400	0
② 雑収益	695,727	1,091,446	▲ 395,719
<b>経常収益計</b>	282,793,166	300,995,232	▲ 18,202,066
<b>(2) 経常費用</b>			
① 事業費	(278,651,000)	(256,823,447)	(21,827,553)
研究助成金	214,000,000	195,000,000	19,000,000
研究会助成金	24,000,000	22,280,000	1,720,000
海外派遣援助金	22,000,000	21,100,000	900,000
選考費	11,540,000	11,508,858	31,142
印刷製本費	7,111,000	6,934,589	176,411
② 管理費	(21,505,960)	(26,467,872)	(▲ 4,961,912)
給与及手当	5,400,000	5,400,000	0
会議費	6,619,200	5,761,608	857,592
旅費交通費	1,060,000	36,000	1,024,000
通信費	602,000	534,389	67,611
賃借料	77,760	82,080	▲ 4,320
雑費	7,747,000	14,653,795	▲ 6,906,795
<b>経常費用計</b>	300,156,960	283,291,319	16,865,641
<b>当期経常増減額</b>	▲ 17,363,794	17,703,913	▲ 35,067,707
<b>当期一般正味財産増減額</b>	▲ 17,363,794	17,703,913	▲ 35,067,707
<b>一般正味財産期首残高</b>	462,647,046	444,943,133	17,703,913
<b>一般正味財産期末残高</b>	445,283,252	462,647,046	▲ 17,363,794
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>			
① 基本財産受取寄付金	300,000,000	300,000,000	0
② 基本財産評価損(▲)益	0	0	0
③ 基本財産受取利息	24,277,869	47,758,638	▲ 23,480,769
④ 基本財産受取配当金	249,489,400	249,489,400	0
⑤ 投資有価証券利息	2,128,052	1,252,631	875,421
⑥ 一般正味財産への振替額	282,097,439	299,903,786	▲ 17,806,347
<b>当期指定正味財産増減額</b>	293,797,882	298,596,883	▲ 4,799,001
<b>指定正味財産期首残高</b>	30,772,322,582	30,473,725,699	298,596,883
<b>指定正味財産期末残高</b>	31,066,120,464	30,772,322,582	293,797,882
<b>III. 正味財産期末残高</b>	31,511,403,716	31,234,969,628	276,434,088

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

平成 28 年度における借り入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

平成 28 年度における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。